

# 06

# 農山村資源を活かした観光地域づくりの実践

発表者：中山滋園（生命環境学部地域食物科学科3年）・吉江春香（生命環境学部地域社会システム学科観光政策科学特別コース3年）・赤池友吾・伊藤彩香・菊沢帆香・田中真未（同2年）・有野菜実加・大山陽菜乃・大原汐里・佐々木まよ（同2年）

担当教員：菊地 淑人（生命環境学域）

## 取組の概要

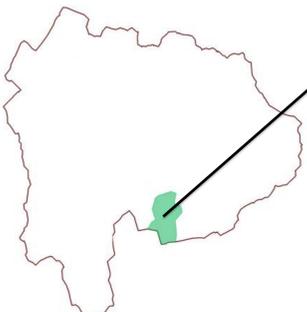
### 活動地域の基本情報

### 地域課題と目的

現地調査及び利用者アンケートの調査結果  
トリップアドバイザーにおける口コミの分析等

各施設の魅力を高め、滞在時間・消費金額を伸ばせるコンテンツとできるか

→ 道の駅なるさわの改修・改善に向けた提案



### 鳴沢村

鳴沢氷穴、青木ヶ原樹海、溶岩樹型、キャベツ、千戸そばなど

## 課題解決の方法

### 1. 現地調査

昨年度から引き続き活動している学生に加え、今年度から活動を始めた学生と共に再度対象地域の調査を行い、地域資源を探った。

### 2. 課題の整理

参加者全体で道の駅における施設・要素ごとの個別の課題をより具体的に整理した。

### 3. 近隣事例及び県外特筆事例の視察

・富士山麓における道の駅（朝霧高原、すばしり、富士川楽座 など）  
「富士山」という共通のイメージを持つ周辺の道の駅を視察し、それらとの差別化を図る戦略立案のための基礎的情報を集めた。

### ・道の駅ましこ（栃木県）

第3セクターによる施設の一体的運営、また、地域資源の効果的・多角的な活用という点で特筆される当該施設の視察を通して、高い集客力を得るための工夫を学んだ。

※他にも、道の駅南信州とよおかマルシェ（長野県）  
道の駅うつのみやろまんちっく村（栃木県）を視察した。



### 4. 道の駅なるさわの改善提案

1,2,3に基づき、学生による具体的な提案を行った。  
これらの提案を1つの冊子にまとめ、2月19日に行われた報告会（オンライン）にて発表した。

1年生

2年生

3年生



報告会